

## 2016 年度 第 1 回産業情報研究所研究会

開催日時・場所:2016 年 5 月 21 日(木) 13:30-15:00 513 教室

テーマ:農・食・人連携による地域ブランド創出のすすめ

講師:ブランドストーリー代表 大平恭子 氏

参加者:瑞穂市民(特に富有柿生産者)、瑞穂市役所員、経営学部教員等 約 30 名

来賓:瑞穂市長 棚橋敏明 氏

瑞穂市が推進する地域ブランド戦略および富有柿発祥の地・瑞穂市で柿を用いた六次産業化を志す農業従事者のニーズに対応するべく企画を行った。講師は、盛岡市を拠点とし、岩手県で地域の特産品(農産物)を活かした商品開発を多く手がけ地域ブランドの創出を行っている、農林水産省6次産業化プランナー／シニア野菜ソムリエの大平恭子氏である。本講演では、氏がプロデュースを手がけた岩手県内の 6 次産産品を例としながら、地域ブランドをどのように作り上げて行くかについて丁寧に説明された。特に、地域ブランド構築に必要な要素を、いかに価値(お金を出してでも手に入れたいもの)に落とし込んでいくかという枠組みの提示があった。

富有柿生産を中心とする多くの農業生産者などが数多く聴講され、質疑応答では活発な議論が交わされた。また、来賓としてお招きした棚橋敏明瑞穂市長からも、瑞穂市のブランド構築に向けて講演内容を活かす旨の挨拶をいただいた。

## 2016 年度 第 2 回産業情報研究所研究会

本研究会は、朝日祭連携企画として、主に防災をテーマとした複数回の内容で行った。内容は、外部講師による講演会 2 回と、所員による連続講演会である。

### ・ 講演会(第 1 部)

開催日時・場所:2016 年 10 月 22 日(土) 14:00-14:30 朝日祭特設ステージ

テーマ:棚橋市長が語る瑞穂市と防災～水害の歴史を振り返って

講師:瑞穂市長 棚橋敏明 氏 (聞き手:朝日大学産業情報研究所所長 畦地真太郎)

参加者:不特定多数

瑞穂市における水害の歴史と防災対策について、棚橋敏明瑞穂市長に登壇いただき、畦地所長から公開インタビューを行うという形式で語っていただいた。市長は 1976 年 9 月 12 日に発災した、通称「9. 12 水害」の体験者(被災者)であり、「当時若者だった市長から、今の若者である

朝日大生に伝えたい防災意識」という内容での分かりやすい体験談と教訓をいただいた。同時に、当時の教訓を活かした、現在の瑞穂市の水害防止体制・対策についても、お話しをいただいた。

・ 講演会(第2部)

開催日時・場所:2016年10月23日(日) 13:00-15:00 512教室

テーマ:東日本大震災に見る、地域の復興と心理ケア

講師:岐阜大学教育学部学校教育講座 板倉憲政氏

参加者:一般参加者、経営学部教員等8名

臨床心理学者・セラピストとして、東日本大震災の被災地において心のケアに係わった経験を持つ板倉憲政氏をお招きした。大災害の時に被災者と被災地域に何が起こるのか、それに対する対応・対策として何ができるのかをご講演いただくと共に、実際のストレスケア法についてのワークショップを行った。震災は日本全国どの地域にも起こりうるものであり、瑞穂市においても日常の備え、特に発災後の対応を準備しておくことが重要であることが確認された。

本講演会においては、市民の参加もあり、内容も良質であったにもかかわらず、参加者が非常に少ないという結果になってしまった。これについては、研究所による宣伝・広報等が不十分だった可能性が高く、今後の企画において検討すべき事項として残された。

・ 連続講演会

開催日時・場所:2016年10月22日(土)～23日(日) 512教室

朝日祭の期間中、所員がそれぞれの研究シーズや成果を持ちより、一般来場者を対象に連続講演会を行うという試みが為された。イメージとしては、いつ会場に入っても常に誰かが何かの演し物をしている“寄席”である。

しかし残念ながら、この試みも宣伝・広報不足および会場教室が朝日祭の実施主要部から外れているということもあり、ほとんど来場者がなかった。次年度以降に同様の企画を行う場合には反省材料としなければならない。行われたプログラムについては、以下に記すとおりである。

22日(土)

11:00-12:00「体験！減災ゲーム・クロスロード」 畦地真太郎

15:00-15:50「600年前から、恋してる ～能・狂言の描く恋愛ドラマ～」 米田真理

17:00-17:50「人工知能があなたの恋愛応援します」 矢守恭子

18:00-19:30「夜の心理学」 田村明・畦地真太郎

23日(日)

11:00-12:00「瑞穂市災害図上演習」 畦地真太郎

15:30-17:00「心理学、一騎当千！」 畦地真太郎